

## 2022年8月25日所長会見 所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、また、「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきまして、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安・ご不信を抱かせておりますことについて、深くお詫び申し上げます。
- 本日は、私からは3点お話しいたします。
- はじめに、6号機大物搬入建屋の杭損傷を踏まえた関連調査の状況です。お手元の資料をご覧ください。
- 1スライド目は各調査の状況を記載しております。  
まず、主要な杭支持構造物周辺の建設残置物探査ですが、22日から開始しております。
- 2スライド目をご覧ください。探査は、地表面からの表面波探査によって行い、その結果を踏まえて追加調査も検討してまいります。
- 3スライド目をご覧ください。8月10日のユニット所長記者説明会にて6号機フィルタベント基礎下まで、建設残置物が続いていることをお伝えしておりましたが、23日に1本の杭に残置物が接していることを確認いたしました。

- 資料右下の絵にあるように、基礎の外側では残置物の厚みが 1.3m 程度であったものが、徐々に薄くなっていき、杭に接している部分の厚みは、基礎下から約 80cm の状況です。

6号機フィルタベントについては、中越沖地震後に建設されたものであるため、6号機大物搬入建屋の杭損傷のように中越沖地震の影響はございませんが、今後、杭に接している範囲の特定や杭への影響を確認するとともに、杭近傍で確認された残置物については全て撤去してまいります。
- 引き続き、土砂の崩落に十分に注意するなど、安全に最大限配慮しながら掘削調査を進め、調査結果につきましては取りまとめ次第お知らせさせていただきます。
- 2点目に、発電所の運転保守に関する状況についてお知らせいたします。
- 6号機非常用ディーゼル発電機からの油漏れにつきまして、詳細原因について現在も調査中ですが、これまでにお知らせした通り、調査の中で軸封部のカバーにわずかな変形が確認されていることから、軸封部のカバーとOリングを新品に取替えることといたします。
- また、部品の取替えや原因調査後に再度 24 時間運転を行う予定ですが、それと並行して、同型のディーゼル発電機である、7号機の3台についても順次 24 時間運転を行うこととしました。
- 7号機の 24 時間運転の実施に際しては、6号機での油漏れの状況を踏まえて、軸封部の確認を行った上で実施したいと考えており、その時期については、別途お知らせしてまいります。

- 続いて、3月31日にお知らせした、日本フェンオール社により不正行為が行われていた火災感知器についてです。リコール対象の感知器は、全数取替える旨をお伝えしておりましたが、今月22日より、7号機に設置されたリコール品の火災感知器について、品質が確認されたものへの取替え作業を開始いたしました。
- 取替え後、順次使用前事業者検査に移行する予定です。  
その他号機につきましても、準備が整い次第、取替え作業を行ってまいります。
- 最後に、固定式消火設備の配管再施工（いわゆる、申告案件）の使用前事業者検査において、原子力規制庁からの立ち会い要望に応じていなかったとする件についてです。
- 柏崎刈羽原子力発電所の「志」として、「誠実な情報発信に努め、いただいた声を活かしてまいります」とお伝えのとおり、発電所の状況やトラブル等について、監督官庁や行政の方々、そしてマスコミ、地域の皆さまにも、しっかりとお見せし、その状況をお伝えしていくスタンスです。
- 今回の件も決して規制庁の検査を妨害する意図や、検査の状況を隠すといった意図はございませんでした。  
再施工を行う際に、対策としてお示しした「ガスボンベの設置状況」、「シールドガスの注入方法」、「酸素濃度測定方法」などの溶接施工の管理状況について、現地の運転検査官に現場で確認も頂いております。

- 使用前事業者検査への立ち合い要望について、当社では「耐圧漏洩試験」に関しては「記録確認」を行い、「設備の健全性に問題が無いかの現場確認」は、「立ち合い」にてご確認をいただくことで規制庁の検査官のニーズは満たせると考えておりました。
- 一方で規制庁の検査官は、「耐圧漏洩試験」に関して「現場確認」を実施したいとの意向であり、その点において認識の違いがあったものです。
- 当社は、使用前事業者検査に立ち会っていただくために、検査項目や時期を記載したリストを提示しておりましたが、そのリストには、項目ごとに「現場確認」か「記録確認」かの具体的記載がなかったため、認識の齟齬を生んでしまったものと推定しております。  
そのため、そのリストについては「現場確認」と「記録確認」が明確に分かるように、すでに改善を行っております。
- 今後、同様な事がないよう、コミュニケーションをより密にして、引き続き検査に真摯に対応してまいります。
- 私からは以上となります。